

薬物乱用防止講演を開催しました ～身近に潜む薬物犯罪について～

7月10日（水）本校体育館におきまして、全学年を対象とした「薬物乱用防止について」の講演会を、講師に和歌山県警察有田湯浅警察署生活安全刑事課の中村様をお招きして開催しました。近年中・高校生や大学生など若い世代で急激に増加している薬物問題。中でも大麻の検挙数が増加傾向にあり、昨年度は覚醒剤の検挙数を上回ったとのことで、さらに身近な問題となっていることなどを説明してもらいました。



またSNSや友人などから「大麻は身体に悪くない」、「依存症にはならない」、「大麻は合法」などといった誤った情報を信じた結果、依存症となり、警察に捕まったこと、大麻の入り口は友人から誘われて始めた人が多いことなどを説明してもらいました。

大麻使用の法改正もなされ、今後大麻使用での検挙数があがることへの懸念も指摘されていきました。大麻を吸うと、尿検査でははっきりと使用がわかり、副流煙では反応が出ないそうです。今日は暑い中、生徒たちも興味を持って聞いていました。生徒からは、「薬物の怖さを改めて感じた。こんなに身近に薬物の脅威が迫ってきていると思うと怖いし、心配になってくる」や「同年代が薬物乱用で逮捕されているニュースを見ると本当にびっくりする。自分は絶対にしない」「誘われても絶対に断る」といった声が聞こえました。本日の講演会で聞いたこと、教わったことの正しい知識をもって今後の生活に活かしてほしいと思います。

